会報 No.259

【第259号　紙面案内】
第２～３面……常任理事会報告・理事会報告、学会役員・名誉会員一覧
第４面……第60回全国研究大会開催校案内
第５～６面……第60回全国研究大会プログラム

第60回　全国研究大会統一論題解題

大会実行委員長　井上 善海（広島大学）

第60回全国研究大会は、10月23日(金曜日)、24日(土曜日)、25日(日曜日)の３日間、「日本型経営の新しいモデルを求めて」を統一論題に、広島大学東千田キャンパスにおいて開催されます。

国際金融危機に端を発した世界的な景気低迷（グローバル・リセッション）は、輸出関連型の大企業だけでなく、わが国中小企業にも大きな影響を与えています。しかし、このような環境激変の中でも、過去最高益をあげる企業や増収増益を達成する企業が数多く見られます。

これらの企業に共通しているのは、危機的な状況に浮き足立つことなく、 経営の基本に忠実に、将来を見据えていることです。言い換えると、欧米企業が軒並み不振に陥っている中で、日本型経営の新しいモデルを構築している、または構築しつつある企業であるともいえます。

そこで、第60回全国研究大会は、特別講演では、ＢＳＥ騒動などで毎月１億円以上の赤字を出す危機的な状況から、経営理念に基づく経営へと転換し、現在では業界トップ企業をしのぐ勢いで増収増益を達成している、東証二部上場企業の福留ハム株式会社中島修治社長に、「福留ハムの経営理念～人生・仕事の道しるべ」と題してお話しいただきます。

また、日本の伝統工芸の毛筆産業から経営革新を行い、世界の化粧筆トップメーカーへと成長した株式会社白鳳堂の髙本光取締役統括部長からは、「伝統工芸産業活性化の方策～筆は道具なり～」について事例報告をしていただきます。

なお、初日の10月23日(金)13時30分から17時までは、マツダ株式会社のご好意により、本社工場の視察はもとより、全社的かつ戦略的にＣＳＲ活動に取り組むため、本年８月に発足させたばかりの「ＣＳＲ・環境部」の担当者による「マツダが取り組む戦略的なＣＳＲ活動について」のご説明もございます。世界的な自動車産業の不振、フォードとの資本提携解消後のマツダの戦略を聞くことができるまたとない機会だと思います。

この時期の広島は、世界遺産宮島の紅葉が色づく観光シーズンです。ご参加の皆さまには、ぜひ早めのご旅行の手配をお願い申し上げます。

常任理事会報告・理事会報告

○第２回理事会報告

平成21年７月11日(土)、㈱山城経営研究所５階会議室において、平成21年度第２回理事会が開催されました。以下、その内容を報告します。

１．日本経営教育学会新役員等の選任について

副会長、追加理事、常任理事、幹事（本部幹事）および会計監事２名が決定された。また、各委員会の委員長、副委員長および部会幹事が承認された。今後の各委員の追加については、各委員長からの推薦をもとに会長に一任し、加えて常任理事等の追加についても会長に一任された。

２．顧問の推薦について

斉藤毅憲氏を顧問として推薦する旨提案があり、承認された。

３．学会名簿の作成について

総務委員長より新たに学会名簿を作成する旨提案があり、承認された。2010年４月発行予定。

４．第60回全国研究大会について

第60回全国研究大会（開催校：広島大学）の準備状況について大会委員長より報告がなされた。

５．会員の入退会について

新たに個人会員３名の入会申し込みがあり、承認された。本理事会の承認分をあわせて、個人会員782名、法人会員５社となった（平成21年７月10日現在)。

○第２回常任理事会報告

平成21年８月31日(月)、東洋大学６号館6213教室において、平成21年度第２回常任理事会が開催されました。以下、その内容を報告します。

１．第60回全国研究大会の件

大会プログラムについて組織委員長より報告があり、承認された。

２．会員入退会の件

新たに個人会員７名と法人会員１社の退会申し出があり、承認された。本理事会の承認分をあわせて、個人会員775名、法人会員４社となった（平成21年８月31日現在)。

３．その他

（１）学会名簿作成の件

来年４月に発行予定の学会名簿の様式について議論がなされ、前回の様式を踏襲することとした。

（２）学会ホームページの件

総務委員長より、学会ホームページの改訂について報告があり、改訂については引き続き検討を進めることとした。

訃 報

本学会の名誉会員である飫冨順久先生が、平成21年７月17日に永眠されました。先生は平成15年より平成18年まで会長を務められ、本学会の発展に尽力されました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

日本経営教育学会役員・名誉会員一覧

（任期：自平成21年７月１日　至平成24年６月30日）

（五十音順）

会　　長	松本　芳男				
副 会 長	冨田　忠義	櫻井　克彦			
名誉会員	藤芳　誠一	森本　三男			
顧　　問	青木　武一	阿部　　実	梅澤　　正	大山　政雄	小川　英次
	菊池　敏夫	河野　重榮	小林　規威	斉藤　毅憲	酒井　　甫
	高松　和男	筒井　清子	西澤　　脩	平田　光弘	逸見　純昌
	増田　茂樹	三浦　康彦	柳澤　寛一	山本　純一	
理　　事	石井　泰幸	井上　善海	井之川義明	上野　哲郎	海老沢栄一
	※小椋　康宏	※加藤　茂夫	亀川　雅人	木村　敏夫	※河野　大機
	※小嶌　正稔	小山　　修	佐久間信夫	新川　　本	※杉田あけみ
	田中　信弘	※手塚　公登	中條　秀治	※樋口　弘夫	福田　昌義
	堀田友三郎	細川　　進	堀越　　勝	※松村　洋平	水尾　順一
	※森川　信男	※吉村　孝司	李　　只香		（※は常任理事）
会事計監	柿崎　洋一	酒井　勝男			
本部幹事	青淵　正幸	小川　達也	小島　大徳	董　　晶輝	福田　好裕
	福原　康司	細萱　伸子	中村　公一	山中　伸彦	
事務局長	魚住　良三				

【各種委員会】

委員会	委員長	副委員長	委　　員
総務委員会	森川信男	小嶌正稔	魚住良三　小島大徳　須田敏子
組織委員会	吉村孝司	松村洋平	小川達也　大野和巳　萩原道雄　加藤茂夫 福田昌義　福田好裕　福原康司　堀越　勝
会報委員会	樋口弘夫	杉田あけみ	小川達也　河合博子　山中伸彦
国際委員会	手塚公登	中村公一	董　晶輝　中村久人　文　載皓
機関誌委員会	河野大機	西田芳克	柿崎洋一　鈴木岩行　関　智一　萩原道雄 平田光弘　細萱伸子
山城賞委員会	小椋康宏	加藤茂夫	櫻井克彦　冨田忠義　細川　進

【各地域別部会】

地域別部会	部会長	副部会長	幹　　事
北海道部会	小山　　修		三ツ木芳夫
関東部会	佐久間信夫	青淵正幸	石井泰幸　小沢一郎
中部部会	堀田友三郎	中條秀治	藤木善夫
関西部会	高田雄司		陳　恵貞
九州部会	李　　只香	新川　　本	篠原　淳　遠藤真紀　小野瀬拡　岡部勝成 細野賢治　八島雄士

第60回　全国研究大会開催校案内

広 島 大 学
(Hiroshima University)

広島大学は、「自由で平和な一つの大学」という建学の精神を継承し、理念５原則の下に、社会に貢献できる優れた人材を育成し、科学の進歩・発展に貢献しつつ、世界の教育・研究拠点を目指している大学です。

本部がある東広島キャンパス（東広島市）は、緑豊かな252ヘクタールという広大なキャンパスで、国際平和文化都市である広島市内には霞キャンパス（医歯薬）と、東千田キャンパスがあります。

現在、11学部、12研究科、１研究所、大学病院並びに11もの附属学校園を有しています。学部学生11,000名、大学院生4,500名、付属学校まで含めると総勢２万名が学んでいます。

本大会を開催します東千田キャンパスは、1997年に東広島キャンパスへの統合移転が完了するまで本部キャンパスがあった広島市内中心部のキャンパスで、今でも被爆建物である理学部校舎が残っている広島大学にとっては特別な地でもあります。このキャンパスでは、現在、社会人向けの研究型大学院である社会科学研究科マネジメント専攻と法科大学院、それに法学部と経済学部の夜間主コースの学生が学んでいます。

広島大学東千田キャンパスへのアクセス

〒730-0053　広島市中区東千田町 1-1-89

ＪＲ広島駅から：

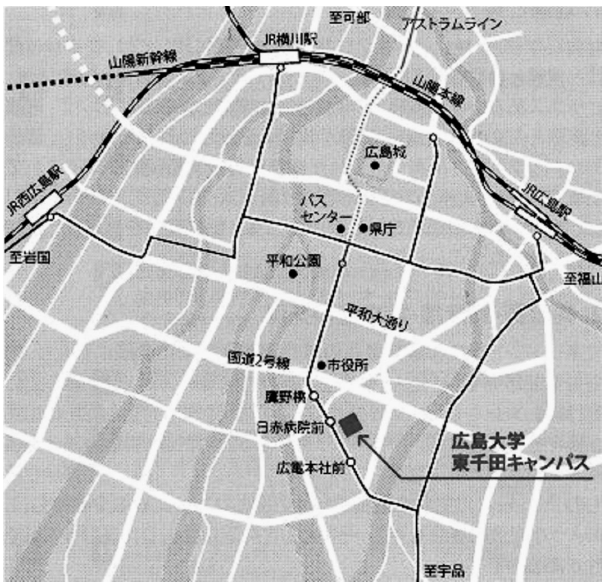
・紙屋町経由「広島港（宇品)」行きの市内電車「日赤病院前」下車（所要時間約30分）

・タクシー利用（所要時間約10分）

広島空港から：

・「広島駅新幹線口」行きのエアポートリムジンバス（所要時間約45分)、紙屋町経由「広島港（宇品)」行きの市内電車「日赤病院前」下車（所要時間約30分）

・「広島バスセンター」行きのエアポートリムジンバス（所要時間約53分)、「広島港（宇品)」行きの市内電車「日赤病院前」下車（所要時間約15分）



日本経営教育学会第60回全国研究大会プログラム

統一論題「日本型経営の新しいモデルを求めて」

第１日　2009年10月23日（金）

14:00～17:00　企業見学　マツダ株式会社本社工場
18:00～　理 事 会　広島大学　東千田キャンパス会議室

第２日　2009年10月24日（土）

9:30～16:00　受付
10:20～10:25　開会挨拶　第60回全国研究大会実行委員会委員長　井上　善海
10:25～10:30　会長挨拶　日本経営教育学会会長　松本　芳男

10:30～15:15　統一論題報告（大講義室）（各報告　報告：40分　討論：10分　計50分）

10:30～11:20	統一論題　１
報告者	原口恭彦（広島大学）
報告テーマ	中国進出企業に見る日本型人的資源管理の変容と展開
コメンテーター	山中伸彦（立教大学）
司会者	李　只香（九州共立大学）
11:25～12:15	統一論題　２
報告者	川端大二（川端人材開発研究所）
報告テーマ	日本型人材育成の再構築に向けて
コメンテーター	海老澤栄一（神奈川大学）
司会者	松村洋平（立正大学）

12:15～13:30　休　憩

13:30～14:20	統一論題　３
報告者	福田昌義（日本大学）
報告テーマ	新しい日本型経営の探索 ―営利・非営利の垣根を越えて―
コメンテーター	亀川雅人（立教大学）
司会者	杉田あけみ（千葉経済大学）
14:25～15:15	統一論題　４
報告者	髙本　光（株式会社白鳳堂取締役統括部長）
報告テーマ	伝統工芸産業活性化の方策―筆は道具なり―
コメンテーター	水尾順一（駿河台大学）
司会者	遠藤真紀（九州情報大学）
15:20～16:10	韓国経営学会からの派遣報告
報告者	梁　在英（柳韓大学）
報告テーマ	メンタリング・システムの導入による人材育成に関する研究
司会者	中村公一（駒沢大学）
16:15～17:15	特別講演
報告者	中島修治（福留ハム株式会社代表取締役社長）
報告テーマ	福留ハムの経営理念―人生・仕事の道しるべ―
司会者	井上善海(広島大学)

17:45～19:30　懇親会　（会場：ホテルセンチュリー21 広島）

第３日　2009年10月25日（日）

9:00　受　付

9:30～11:40　自由論題報告　（各報告　報告：25分　コメントおよび質疑：15分　計40分）

海外派遣報告　（報　告　報告：25分　コメントおよび質疑：15分　計40分）

9:30～10:10	Ａ会場（205教室）（自由論題）	Ｂ会場（206教室）（自由論題）	Ｃ会場（207教室）（自由論題）
報告者	何　毅（東洋大学大学院）	角和宏（広島大学大学院）	王　鵬（日本大学大学院）
報告テーマ	日本におけるボーン・グローバル・カンパニー（BGC）の研究―資源ベース論の戦略に基づいて―	日本企業における地域貢献活動のリスクと成長可能性―「不況期のＣＳＲ」についての一考察―	組織における人間観と労働観の変容に関する一考察―意味創造の組織デザインの視点から―
コメンテーター	新免圭介(青森中央学院大学)	加藤茂夫（専修大学）	谷井良（中京学院大学）
司会者	文載皓（富士常葉大学）	新川本（長崎県立大学）	福原康司（専修大学）
10:15～10:55	（自由論題）	（自由論題）	（自由論題）
報告者	森部昌広（九州共立大学）	武内龍二（中央大学大学院）	小原久美子（県立広島大学）
報告テーマ	リーダーシップのある人材育成に関する一考察―大学におけるプロジェクト・ベースド・ラーニングを事例に―	ＩＴ系企業におけるミドルリーダーの意思決定と実際行動のギャップについて	電力会社の経営問題解決型の人材育成課題に関する考察―サービス産業としての電力会社の持続的競争優位性の確立に向けて―
コメンテーター	村上良三（ハリウッド大学院）	奥居正樹(広島大学)	水野基樹（順天堂大学）
司会者	手塚公登（成城大学）	白川美知子（九州共立大学）	井之川義明（㈱マルチメックス）
11:00～11:40	（自由論題）	（海外派遣）	
報告者	田中隆世司（広島大学大学院）	小川達也（東京富士大学）	
報告テーマ	医薬品開発における戦略的パートナーシップのあり方に関する一考察―ネットワーク理論における構造的分析の視点から―	"The Possibility of Overcoming Corporate Scandals by Negative Organizational Leaning and the Issue of Management Education"	
コメンテーター	木村弘（宇部工業高等専門学校）	司会者	田口智子(北翔大学短期大学部)
司会者	坪井順一（文教大学）		

11:40～12:30　休　憩

12:30～15:00　統一論題パネルディスカッション

（パネリスト問題提起　各15分　指定討論者とのディスカッションおよび質疑：95分　総括：10分　計150分）

12:30～15:00	統一論題パネルディスカッション（大講義室）
報告者	原口　恭彦（広島大学）
	川端　大二（川端人材開発研究所）
	福田　昌義（日本大学）
	髙本　　光（株式会社白鳳堂取締役統括部長）
指定討論者	山中　伸彦（立教大学）
	海老澤栄一（神奈川大学）
	亀川　雅人（立教大学）
	水尾　順一（駿河台大学）
コーディネーター	櫻澤　　仁（文京学院大学）

15:00　閉会挨拶　　日本経営教育学会組織委員会委員長　吉村　孝司

第59回全国研究大会参加記

大野 和巳（青森中央学院大学）

日本経営教育学会の創立30周年記念大会として第59回全国研究大会が、去る６月26日(金)、27日(土)、28日(日) の３日間の日程で東洋大学において開催された。統一論題は「日本企業の経営実践と経営教育」であった。学会の設立趣意を反映し経営主体の視点から経営者教育と管理者教育を取り上げるとともに、今日的な経営実践課題を視野に入れた６つのテーマ別に活発な議論が展開され、創立30周年に相応しい充実した内容の記念大会となった。

統一論題報告は２日目と３日目に行われ、セッションごとに３名の報告者と１名のコーディネーターからなるパネルディスカッション方式が採られた。第１セッションでは、経営実践学の方法をテーマに、学会創設者山城章先生の実学一体の経営理論を手掛かりとして経営実践学の原理に迫る議論がなされた。第２セッションでは、ＣＳＲをテーマに、コミュニケーション、本業との関係性、ＮＰＯとの協働という３者の視点からその本質が議論された。第３セッションでは、経営教育をテーマに、経営者に対する人格教育の重要性、経営コンサルタントの実務的見解と経営理論との共通性、マーシャルの経済的騎士道の現代性が指摘された。第４セッションでは、イノベーションをテーマとし、製品イノベーションのプロセスマネジメント、イノベーションの４つのパラドックス、イノベーション経営の遺伝子学的分析が議論された。第５セッションでは、管理者教育をテーマに、組織における語り、ファシリテーター型ミドル、企業文化の視点から議論がなされた。第６セッションでは、グローバリゼーションをテーマとし、Ｍ＆Ａ、営業組織、企業境界の視点からグローバル経営の課題が指摘された。

２日目の記念講演は「日本企業の経営実践とテクノロジー」と題して、キャノン電子株式会社代表取締役社長の酒巻久氏が長年の実務経験に基づいた示唆に富む経営実践論を展開された。例えば技術開発部門では社員に創造力がなくとも洞察力とやる気があればよい、若い社員には自由にやらせること褒めることがインセンティブになるといった経験に基づく説得力のある主張をされた。酒巻社長には、ご多忙にもかかわらず講演後に如水会館で開催の懇親会にもご出席いただき、学会員の方々との交流をしていただいた。

３日目は、統一論題の第５・第６セッションに続き、16の自由論題報告において活発な議論が交わされ、学会の今後の発展を感じさせる雰囲気のなかで閉会となった。

第59回全国研究大会工場見学記

山本 毅（システム構造研究所）

第59回全国研究大会の初日の企業見学には、西新宿甲州街道沿いの東京ガスショウルームに40名を超える会員の方々が参集くださった。単なるショールームの見学であると思っていたが、ガスと電気の調理比較による冷凍ピラフの試食は特にシズル効果を彷彿とさせるものがあった。また、地下にある副都心全域を対象とした大型空調冷暖房設備を目の当たりにしながらの説明では、わが国産業技術力の優秀さに驚嘆した次第である。それは、IHIの蒸気タービン、日立の空調機が、いずれも世界最大の設備だからである。大都心の地下に巨大な空間と設備があるとは予想だにせぬ出来事であった。またガス暖房のデモ効果は体感して頷くことはできたが、導入施工費とランニングコスト比較の表示がなかったことは残念であった。今後のエネルギー革命の前途を考えさせられた有意義な企業見学であった。

国際委員会報告

国際委員会委員長　手塚 公登（成城大学）

去る８月10日、イリノイ州シカゴで開催されたアメリカ経営学会年次大会において、小川達也氏（東京富士大学）が“The Possibility of Overcoming Corporate Scandals by Negative Organizational Learning and the Issue of Management Education”と題する基調講演を行った。この講演に約25名が参加し、報告60分＆質疑30分の枠で建設的かつ有意義な議論が交わされ、参加者から好評を博した。小川氏には“Keynote Speaker”に対する貢献として同学会経営教育部会より栄誉賞が授与された。

なお、2010年度の年次大会は、カナダ・モントリオールにおいて、８月６日～10日の日程で“Dare to Care”をメインテーマに開催される予定である。

◇◇関東部会開催のご案内◇◇

関東部会では、平成21年第２回部会開催を下記のとおり予定いたしております。

●**日時**：12月12日(土) 13:30～17:00　受付 13:15～

●**場所**：創価大学Ｂ棟Ｂ401教室
　　ＪＲ八王子駅北口西東京バス12番乗場からバスで約20分

●**報告プログラム**（報告40分、コメント・質疑20分）

第１報告　13:30～14:30
- 報告者：羽田　明浩氏（立教大学大学院経営学研究科博士後期課程）
- テーマ：「病院組織の発展段階モデルの研究 ──聖路加国際病院と国際医療福祉大学の事例研究──」
- コメンテーター：髙橋　淑郎氏（日本大学）
- 司会者：松村　洋平氏（立正大学）

第２報告　14:40～15:40
- 報告者：文　載皓氏（富士常葉大学）
- テーマ：「美徳の市場とＣＳＲ」
- コメンテーター：萩原　道雄氏（萩原経営研究所）
- 司会者：三浦　庸男氏（埼玉学園大学）

(20分休憩：コーヒーブレイク)

第３報告　16:00～17:00
- 報告者：石井　泰幸氏（千葉商科大学）
- テーマ：「地域情報ネットワークの現状と展開」
- コメンテーター：伊藤　忠治氏（諏訪東京理科大学）
- 司会者：白坂　享氏（大東文化大学）

●**参加費等**：参加費500円、懇親会費3,500円

●**お問い合わせ**：関東部会長・佐久間　信夫（042-691-6994、 nsakuma@soka.ac.jp）

機関誌投稿論文募集

機関誌委員長　河野 大機（東洋大学）

平成22年１月末日締め切りで機関誌第13巻第２号（６月発行予定）への投稿論文を募集しています。会員の皆さまの積極的なご投稿をお待ちしております。

なお、投稿に際しては、①投稿規程・執筆要領・完全原稿の遵守、②配送先変更の場合の事務局への速やかなご連絡、にご留意ください。

平成21年度第１回九州部会報告

九州部会　大塚 知弘（福岡経済大学）

今年度第１回の九州部会が2009年７月11日（土)、14時から17時15分まで、福原学園サテライトキャンパスにて開催された。会員20名の出席で下記の報告が行なわれた。

第１報告：14:05-14:40 大塚知弘氏（福岡経済大学）「知的財産権と経営戦略」

第２報告：14:40-15:15 藤川祐輔氏（中村学園大学）「商業道徳の現代的意義－近江商人の遺訓－」

第３報告：15:15-15:50　森部昌広氏（九州共立大学）「リーダーシップのある人材育成に関する一考察－大学におけるプロジェクト・ベースト・ラーニングを事例に」

第４報告：16:00-16:35　田中隆世司氏（広島大学社会科学研究科博士後期課程）「医薬品開発における戦略的パートナーシップのあり方に関する一考察－ネットワーク理論における構造的分析の視点から－」

第５報告：16:35-17:10 吉岡隆彰氏（福岡経済大学）「山城経営学の基本」

ベテランの吉岡隆彰氏（福岡経済大学）や藤川祐輔氏（中村学園大学）から、実践教育に力を注いでいる森部昌広氏（九州共立大学)、新進気鋭の院生である田中隆世司氏（広島大学社会科学研究科博士後期課程）まで多岐にわたる報告が行われ、いずれも有意義な質疑応答がなされた。特に吉岡氏からは、本学会の基本理念を再認識するべきだという趣旨のもと、山城経営学について熱い報告が行われた。

報告会終了後、午後５時30分から懇親会が盛大に開催された。懇親会の席では、新理事となった李只香氏（九州共立大学)、新川本氏（長崎県立大学）が紹介された。両氏からは、学会の更なる拡充を図っていくという挨拶がなされた。

私自身、久々の学会への参加であったが、報告時および懇親会の席でたくさんの貴重なアドバイスをいただいた。切磋琢磨し合えるフレンドリーな学会であることを再確認できた１日であった。

◇◇関西部会開催のご案内◇◇

●**日　時**：平成21年11月21日(土) 13：30～16：45

●**場　所**：大阪府立女性総合センター（ドーンセンター）４階　中会議室３
〒540-0008 大阪市中央区大手前1-3-49（TEL 06-6910-8500）
ＪＲ東西線大阪城北詰駅２号出入口から西へ550m
京阪天満橋駅・地下鉄谷町線天満橋駅１番出口から東350m

●報告会終了後には17時30分より例年どおり懇親会も予定されております。会場は東天紅ＯＭＭビル店（谷町線天満橋駅１番出口すぐ、京阪天満橋駅東出口徒歩１分、TEL 06-6944-1015）の予定です。

●ご報告を希望される方は、部会長および、部会幹事までお知らせください。報告者の募集は３名が揃い次第、締め切らせていただきます。

●お問い合わせ
関西部会長・高田雄司（t_takada@mui.biglobe.ne.jp)、同報をcc.にて部会幹事・陳恵貞(関西大学大学院)（eb8d101@ipcku.kansai-u.ac.jp）へお申し出ください。

●詳細は別途ご案内を申し上げます。

◇◇中部部会開催のご案内◇◇

中部部会では、第40回中部部会開催を下記のとおり予定いたしております。皆さま奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

●**日　時**：11月14日(土)　14：00～17：30

●**場　所**：東海学園大学栄サテライト　地下鉄名城線「矢場町」駅４番出口より南へ200m(徒歩約３分)。若宮大通を渡った角の１階にファミリーマートの入った「久屋南ＫＴビル」の９Ｆにあります。

●**報告プログラム**

第１報告：谷井良氏（中京学院大学）「イノベーションの普及メカニズムに関する一考察」(仮題)

コメンテーター：伊藤賢次氏（名城大学）

第２報告：清剛治氏（北陸先端科学技術大学院大学）「産学官連携コーディネート人材の育成による地域経済開発への貢献 ― 経済理論的意義の明確化と人材育成における課題 ― 」

コメンテーター：三宅章介氏（東海学園大学）

第３報告：加藤里美氏（朝日大学）「ベトナムにおける大学生の就業意識」

コメンテーター：蕎麦谷茂氏（愛知産業大学）

●**参加費等**：参加費 500円、懇親会費 4,500円程度

●**お問い合わせ**：中部部会長・堀田友三郎
(0561-36-5555、hottat@tokaigakuen-u.ac.jp)

詳細につきましては、中部部会事務局・藤木善夫（愛知産業大学 岡崎市岡町原山12-5 TEL：0564-48-4511、yfujiki@asu.ac.jp）までお問い合わせください。

◇◇九州部会開催のご案内◇◇

次回九州部会を、平成22年３月６日（土）にお茶の水医療福祉専門学校福岡校（地下鉄赤坂駅４番出口下車徒歩３分、西鉄 福岡駅中央口下車徒歩８分）で開催の予定です。九州部会でご報告を希望される方は、平成22年１月31日までに、九州部会・八島雄士（yashima@kyukyo-u.ac.jp）までご連絡ください。

産学交流シンポジウム、機関誌投稿論文、アメリカ経営学会および韓国経営教育学会への派遣報告者のお申し込みやお問い合わせは、下記までお願いします。

日本経営教育学会事務局（担当：魚住　良三）

〒102-0072　東京都千代田区飯田橋4-8-4　㈱山城経営研究所内

TEL 03(3264)2100　FAX 03(3234)9988　E-Mail name@kae-yamashiro.co.jp

編集後記

会報第259号をお届けします。10月23日から25日まで、第60回全国研究大会が広島大学で開催されます。研究をベースに、さらなる懇親を深めていただけますようにと、開催校のご尽力により大会への準備が進んでおります。会員の皆さま、第60回全国研究大会にご期待ください。

樋口弘夫・杉田あけみ

発行　日本経営教育学会

〒102-0072　東京都千代田区飯田橋4-8-4
株式会社山城経営研究所（担当：魚住）
TEL 03-3264-2100　FAX 03-3234-9988
E-mail:name@kae-yamashiro.co.jp
URL:http://www.j-keieikyoiku.jp/

印刷　㈱フジヤマ印刷　TEL03-3260-3801
E-mail:fujiyama@mx7.ttcn.ne.jp